



静岡新聞で学ぼう

大自在

手軽に記録でき、繰り返し見られるのが文字の良さ。だが、一度に伝わる情報量の豊富さ、衝撃の大きさでは映像にかなわない。言葉の壁を乗り越え、国境を超えて

広がりやすいのも映像の利点だ。今個人が撮影した映像もインターネット上で世界中に公開できる。そんな動画共有サイトで最も利用者が多い「YouTube（ユーチューブ）」が今年10年を迎えた。どうだ▼「たった10年」と感じるほどに定着し、社会基盤の一部と呼べるような存在にもなっている。企業が宣伝媒体に、政治家が政治活動に活用するのは当たり前。個人の投稿も盛んで、時に不正発露の舞台にもなってきた▼創業したのは米国に住む3人の若者。「自作ビデオをネットで交換し合えたら楽しいね」。友人同士の何げない会話がきっかけだったという。同社を傘下に収めたグーグルや、ヤフーなど、同じ米国生まれのネット企業同様、若い技術者らが自分の興味を追求したのが原点だった▼共通点は何にもある。創業者は学生か学校を出たばかりの若者。移民の子どもも少なくない。普通の人の目線で物事を面白がれる感性を持つ一方で、異端を厭わない気概も備える。無名の彼らに出資した目利きの投資会社の存在もあった▼本県の本田宗一郎をはじめ、かつては日本にも進取の気性に富み、気骨のある創業者はいた。今もいるはずだ。若い力をどう発掘して、育てられるか。既存の大企業以外ではなかなか成果が見えない成長戦略の、それも要点の一つだろう。

2015.6.28

2015年6月28日 朝刊

①文字の良さは何でしょうか。

[]

②映像の利点は何でしょうか。

[]

③創業者を成功に導いた原点は何でしょうか。

[]

年 組 名前